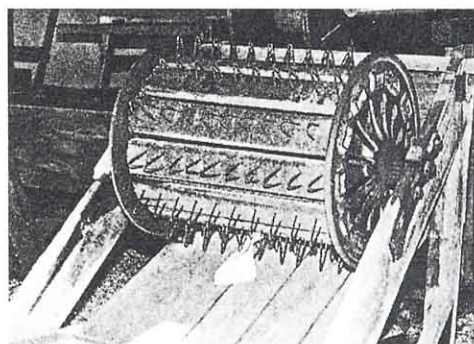


## ② いねのだっこくの道具



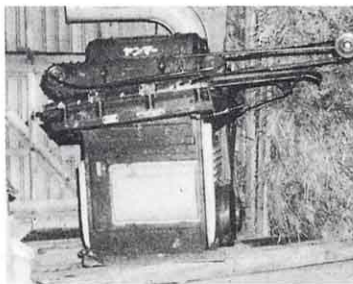
▲<sup>せんば</sup>千歯こき



▲足ぶみだっこき

<sup>せんば</sup>千歯こきは、ひいおじいさんが子どものころ、いねのほをてつでできた<sup>は</sup>歯の所にかけてだっこくしたものです。それが、おじいさんが子どものころになると、足ぶみのかいてんだっこきがつかわれるようになりました。どんな所がべんりになったのか、この道具をつかってだっこくしたおじいさんにお話を聞いてみましょう。

また、50年前ごろには、<sup>はつどう</sup>発動機を利用した<sup>りよう</sup>だっこきがつかわれるようになりました。それはどんなものだったか、お家の人に聞いてみましょう。



◀自動だっこき



◀コンバイン

今は、いねかりとだっこくがいっしょにできるコンバインをつかってしごとをするようになってきました。

ふりかえてみると、だっこくのしかたもずいぶんかわり、どんどんべんりになりました。今では、らくに短い時間にたくさんのだっこくができるようになりました。